

Ga系の急成長予測

30年にSiC上回る規模

(株)富士経済(東京都中央区小伝馬町1-5、03-3664-5811)は、パワー半導体市場に関する最新統計をまとめた。次世代パワー半導体のなかで、SiC(シリコンカーバイド)よりも、GaN(窒化ガリウム)や酸化ガリウム系などGa系の急激な伸びを見込んでおり、2030年にはSiCを上回る市場規模になると予測する。30年の将来予測として、同社ではSiCを2770億円(17年比8・3倍)、GaNを1300億円(同72・2倍)、酸化ガリウム

パワー半導体の市場成長を高く見込んでおり、GaN/酸化ガリウムを合算した市場規模はSiCを上回る見通しとなっている。GaNパワー半導体市場は、200V帯の低耐圧領域向けと600V帯以上の中耐圧領域向けで形成されており、近年、中耐圧領域向けでは参入メーカーが

Si/パワー半導
SiC/パワー半
GaN/パワー半
酸化ガリウム系

ルネサス株を

デンソー保有比

ワグネルは、17年時点で用途別では、情報通信機器分野の需要が一番大きく、POLCON/DCコンバーターで採用されている。今後も情報通信機器が需要の中心となるが、20年以降は太陽光発電用、PFCコンバーター

や高周波駆動が必要な工作機械・医療機器、自動車分野などで採用が活発化している。

酸化ガリウム系は、18年後半からSBD(ショットキーバリアダイオード)の新機構(東京都代田区)は、株式の一部をデンソー(愛知県刈谷市)に売却する。これにより、産業基

松阪の注目カンパニーを追う

第4回

三重化学工業(三重県松阪市大口町262-1、05998-5112361)は、1956年の創業以来、「安心・安全・快適」をキーワードに事業を展開、作業用手袋、保冷材などで地歩を築き、最近では医療機器分野などへ積極的にチャレンジを続けている。

「当社が地位を築いた防寒手袋については、有難いことにシェアトップを保持している。元来は化学洗剤やタールの石鹼の製造で会社が設立されたが、10年後に保冷材・氷枕の製造開始がターニングポイントとなった。その後、作業用手袋のラインアップを拡大してい

三重化学工業

防寒手袋でシェアトップ保持

これまでの既存事業をしつかりと固めたうえで新たな分野に積極展開する

医療に進出し新規市場開拓へ

突き指、指の捻挫、火傷など指用の急性期冷却材「アイシングフィット・G」を開発し市場投入したところ、病院、診療所などに新市場を切り開くことができたこと

「作業用防寒手袋の分野は市場規模が約170万双であり、当社は年産50万双を出荷しているが、残念ながら市場は飽和状態にある。そこで事業の多角化を考えた。医療分野はハードルが高いが、一度入り込めば信頼性を評価してもらえ。また、安定的に製品が出ていく分野でもある。60年にわたって蓄積した技術を持っていくわけだから、インベションが自発的に起きる創造的な組織を作れば、新たな発展の基礎が築かれると思う」(山川氏)。

現状の売り上げは約20億円、従業員は45人、無借金経営をずっと続けている。外的要因に左右されないしなやかな経営を心がけたいとし、一方で経営の自由度を失う



山川大輔氏

さらに熱中症向けに

「通常の会社であれば顧客重視、社業発展が社訓の前面に来るべきだろう。しかし、私が就任した時に、一番前に持ってきたキーワードは社員の幸せである。一人ひとりの社員が夢を持って生き生きと働き、一方で筋肉質な強さを持つレスリエ

強化しているが、やはり重要なところは国内生産でまかないたいという。とりわけ、医療分野については専用工場を建設できるところまでもっていない。1つの独立した事業部に育てたいという希望を持っている。また、国内は少子高齢化で市場拡大が難しいために、中国東南アジアなど海外戦略を強化していく考えだ。

「特別編集委員 泉谷優」